

News Release

平成 25 年 10 月 28 日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 橋本 徹

「統合報告セミナーin 名古屋」開催について

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：橋本徹、以下「DBJ」という。）と一般財団法人日本経済研究所（理事長：荒木幹夫）は、「統合報告セミナーin 名古屋」と題したセミナーを開催します。

DBJ は、「DBJ 環境格付」などの評価認証型融資を通じてサステナビリティに配慮した「責任ある金融」を目指しております。環境・社会・ガバナンス情報（ESG 情報）に対する関心の高まりは、非財務情報の重要性を認識する「統合報告」というムーブメントも生み出しています。

折しも、今年 12 月には国際統合報告評議会（IIRC）が「統合報告」のフレームワークを公表する予定であり、DBJ 東海支店ではこうしたタイミングを捉え、下記要領でセミナーを開催します。

参加ご希望の方は、別紙参加申込書に必要事項を記載の上、FAX にてお申し込みください。

記

日 時	2013 年 12 月 17 日（火） 10:00～12:15（9:30 開場）
会 場	名古屋国際センター 別棟ホール
主 催	(株)日本政策投資銀行、(一財)日本経済研究所
後 援	特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム (一社)中部経済連合会、(一社)中部産業連盟、(株)名古屋証券取引所
定 員	100 名
参加費	無料
演 題	(1)非財務情報開示の最近の動き 資源エネルギー庁 資源・燃料部長 住田孝之 氏 (2)国際的な開示フレームワークの動向 RIDEAL 代表 三代まり子 氏 (3)統合報告への取り組み事例 日本郵船株式会社 広報 CSR グループ部長代理 筒井裕子 氏 (4)非財務情報評価の最新トレンド 株式会社日本政策投資銀行 環境・CSR 部長 竹ヶ原啓介

以上

【お問い合わせ先】

東海支店 電話番号 052-231-7564

「統合報告セミナーin 名古屋」

～非財務情報開示・評価のゆくえ～

弊行は「DBJ 環境格付」などの評価認証型融資でサステナビリティに配慮した「責任ある金融」を目指してきましたが、環境・社会・ガバナンス情報 (ESG 情報) に対する世間一般の関心の高まりは、非財務情報の重要性を認識する「統合報告」というムーブメントも生み出しています。

統合報告という新たな企業報告モデルの枠組みは 2013 年末に公表される予定で、そうした動きに対応して「統合報告書 (Integrated Report)」の作成に乗り出している企業も存在します。しかし、多くの企業にとっては、どんな視点でどのような内容を盛り込んだらよいのか悩みが尽きないのが実情です。このセミナーでは、世界知的資本・資産イニシアティブ (WICI) や国際統合報告評議会 (IIRC) の関係者を講師にお呼びし、統合報告の考え方を分かりやすく解説して頂くとともに、ESG 情報に代表される非財務情報開示の先進事例を紹介し、持続可能な社会で求められる企業リポーティングの視点を提供致します。

<主催> (株) 日本政策投資銀行、(一財) 日本経済研究所

<後援> 特定非営利活動法人社会的責任投資フォーラム

(一社) 中部経済連合会、(一社) 中部産業連盟、(株) 名古屋証券取引所

■日時 2013 年 12 月 17 日(火) 10:00～12:15 (9:30 開場)

■会場 名古屋国際センター 別棟ホール

■定員 100 名 **※定員に達し次第、締め切りとさせていただきます**

■参加費 無料 参加ご希望の方は別紙申込書に必要事項をご記入の上、FAX にてお申し込み下さい

PROGRAM **※一部変更される可能性があります**

10:05～10:35 「非財務情報開示の最近の動き」

資源エネルギー庁 資源・燃料部長／RIETI コンサルティングフェロー 住田 孝之 氏

10:40～11:20 「国際的な開示フレームワークの動向－国際統合報告評議会による統合報告について－」

RIDEAL 代表／IIRC Technical Manager 三代 まり子 氏

11:30～11:50 「統合報告への取り組み事例」

日本郵船株式会社 広報 CSR グループ部長代理 筒井 裕子 氏

11:50～12:10 「非財務情報評価の最新トレンド」

株式会社日本政策投資銀行 環境・CSR 部長 竹ヶ原 啓介

お問い合わせ先／(株) 日本政策投資銀行 東海支店 担当: 谷口・杉浦 TEL 052-231-7564

■登壇者プロフィール

住田 孝之 氏

資源エネルギー庁 資源・燃料部長／RIETI コンサルティングフェロー

1985 年、東京大学法学部卒業、通商産業省(現・経済産業省)入省。1993 年ジョージタウン大学国際政治大学院修了。環境庁、産業政策局、資源エネルギー庁、通商政策局経済連携企画官、知的財産政策室長、技術振興課長、情報通信機器課長、JETRO 出向などを経て 2013 年 6 月から現職。著書:『地域に活気、日本に元気ー地域経済活性化の処方箋』(2007 年経済産業調査会:共著)、『知的財産とコンテンツ産業政策』(2008 年水曜社:共著)、『近未来の企業経営の諸相ー2025 年』(2012 年中央経済社:共著)。財務情報に現れない企業の強みを正しく認識してそれを活かす「知的資産経営」の分野では、国際研究組織 New Club of Paris の理事を 2005 年から、欧州証券アナリスト協会連合会や米国 Enhanced Business Reporting Consortium などが推進する世界知的資本・資産イニシアティブ(WICI)の議長を 2009 年から務める。

三代 まり子 氏

RIDEAL 代表／IIRC Technical Manager

2011 年より世界知的資本・資産イニシアティブ(WICI)のメンバーとして国際統合報告評議会(IIRC)の事務局へ参加。Technical Manager として、主に国際的な企業開示フレームワークの開発に従事。前職の新日本有限責任監査法人(Ernst & Young Japan)では、米国 SEC 登録企業・グループ企業の法定監査や、国内外の知的資産に関連する調査・分析業務、また Ernst & Young Global における情報共有化の推進に従事。企業開示及び指標(KPI)設定の観点から企業価値の向上をサポートしていきたいと考え RIDEAL(リディアル)をコンセプトに 2011 年 7 月独立、現在に至る。著書:『創る・守る・活かす! 知的資産経営』(2008 年税務研究会出版局:共著)。米国公認会計士(カリフォルニア州)。

筒井 裕子 氏

日本郵船株式会社 広報 CSR グループ 部長代理

1986 年、東京大学文学部社会心理学科卒業、同社入社。クルーズ客船「飛鳥」建造プロジェクトをはじめ、海外港湾ターミナル投資管理、自動車専用船オペレーション業務、人事、グループ内広報などに携わるほか、内閣府(規制・制度改革に関する分科会事務局)出向を経て現職。

竹ヶ原 啓介

株式会社日本政策投資銀行 環境・CSR 部長

1989 年一橋大学法学部卒業、日本開発銀行(現・株式会社日本政策投資銀行)入行。政策企画部、調査部、フランクフルト首席駐在員を経て 2009 年 7 月事業開発部 CSR 支援室長。2011 年 5 月より現職。著書:『環境格付ー環境金融の情報基盤』(2010 年金融財政事情研究会:共著)、『責任ある金融ー評価認証型融資を活用した社会的課題の解決』(2013 年金融財政事情研究会:共著)。CSR レポート第三者意見:飯野海運、神戸製鋼、清水建設、日本合成化学工業、富士フイルムホールディングス、ミネベア等(いずれも 2013 年)。経済産業省「金融市場における『環境力』評価手法研究会」委員(2008 年)、環境省「企業の環境情報開示のあり方に関する検討委員会」委員(2010 年)、内閣官房「環境未来都市推進委員会」委員(2013 年)等を兼任。

FAX 送信票

(送り状不要)

(株)日本政策投資銀行 東海支店 企画調査課 行

FAX 052-231-2264

「統合報告セミナーin 名古屋」

セミナー参加申込書

● 会場アクセス



〒450-0001 名古屋市中村区那古野1-47-1

会社名

ご連絡先 ※定員を超えた場合、弊行よりご連絡させていただきます

【ご出席者】

所属部署	お役職	(フリガナ) お名前

※ご記入頂いた情報は、当セミナーの受付・管理に利用致します。

※参加証はございませんので、当日は名刺をご用意の上、受付で会社名・お名前をお申し付けください。